

21年の活動に幕

地球冒険学校
4月解散へ

地球冒険学校準備会の世話人会(理事会)は、このところ解散総会に向けての話し合いをしています。2004年に結成して以来、21年間にわたって活動してきましたが、スタッフの高齢化もあり、この4月に解散することになりました。

前号の会報連載「なめとこ山通信」と「編集後記」でそのことをお伝えしたところ、たくさんの方から惜しむ声が寄せられました。この間、本当に多くの方々に支えられ育てられてきたことをあらためて思い、スタッフ一同胸が熱くなりました。

設立当初は積極的に海外に飛び出し、やや無謀なキャンプ旅行などを実施しましたが、しだいに障害の重い人やさまざまな条件で外に出る機会が制限された人たちをまきこんで、国内で、近場で、安全な活動が中心となりました。障害の種別や年齢に関わりなく、大人も子どもも、みんなが楽しむことを心がけてきました。チャレンジ精神を大事にしたので、公的な学校ではできないユニークな企画も多かったのではないかと自負しています。

今号は、これまでの歩みや懐かしい写真、そして仲間たちの「思い出」を掲載します。

当初かかげた設立趣旨

「このままで良いのか?」・・・
今、子どもたち、学校、家庭、日本の社会を見ていてそう感じる。青少年の犯罪、学校の競争主義、学級崩壊、不登校、ひきこもり、児童虐待、...

取り戻したい——人間本来の姿を、人と人とのぬくもりある関係を、暖かく厳しい家庭を、自由な遊びの空間を、澄み切った青空と満天の星空を、奥深い緑の森を。

今こそつくりたい——のびやかな感性としなやかな知性を育てる学校、枠にとらわれない自由な学校を。

私たちは、教育・福祉・文化・子育て・地域・自然などさまざまな分野での経験を活かし、互いに情報交換をしながら、「地球冒険学校」の設立をめざす。そして次代を担う青少年とともに、日本国内や海外で積極的な野外活動を行ない、ひろい視野とたくましい生活力を身につけながら、人間本来のあり方と明日の社会について語り合いたい。